

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

校種・学年 中学校・第2学年

教科等 総合的な学習の時間

単元（題材）名 「あなたの選択が運命を分ける！備えと行動」

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

中学生として、どのような地域貢献を行うことができるか？

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

自然災害を想定し、どのような備えや行動をする必要があるか？

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- 1 避難行動訓練から、どのようなタイミングで避難行動を始めるべきか？
- 2 避難場所やタイミングを考えた上で、どのような物品を持ち出すべきか？
- 3 今の自分自身にとって、必要な備えや行動は何か？

単元計画の 構想を立てる

- 1 避難行動訓練「EVAG」を行い、避難時の疑似体験を通し、避難するまでの時間やタイミングについて疑似体験させ、災害時にどのようなことが起こり、どのような行動や備えが必要かを考えさせ、課題をもたせる。
- 2 「EVAG」での疑似体験を通した困ったこと・解決策をグループで共有しテーマを決定する。
- 3 決定したテーマをもとに、グループで協議しながら情報収集や吟味を重ねる。
- 4 グループごとに発表し、今の自分にとって必要な避難行動・備えBest 3を決定する。

「あなたの選択が運命を分ける！ 備えと行動」

本単元で育成する資質・能力

スキルアップ、表現力、協働

- 1 日時 令和5年 11月 21日 5校時
 2 場所 2年 2組 教室
 3 学級 第2学年2組 33名（男子13名 女子20名）

単元について

本単元は、第2学年の総合的な学習の時間の中で、「地域」「防災・減災」をテーマに実施する単元である。『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編』には、総合的な学習の時間の目標を達成するにふさわしい探究課題として4点示されており、そのうちの「地域や学校の特色に応じた課題」として、本単元を設定した。

熊野町は、平成30年7月豪雨の際に甚大な被害を受けた。本校にも被災し、しばらく避難所生活を送った生徒がいた。日本では毎年のように地震、大雨などの大きな自然災害が発生し、それに伴い多くの被害をもたらされている。そのような状況の中で、被災の記憶を風化させず、いつ再び起こるかわからない災害に備えるとともに、いざというときに確実に命を守る行動をとる力を身に付けさせることが必要である。また生徒が生活している地域において、防災・減災について、生徒自身が自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことは、地域全体の願いでもある。本単元を通じて、普段から災害に備える行動をとり、災害時には迅速に避難することによって自分や身近な人たちの命を守るとともに、地域全体の防災・減災の担い手として行動できる力を育成したい。

生徒の実態

次の表は、本校で定期的に行っている生徒質問紙において、本校で育成する資質・能力および総合的な学習の時間に関わる項目について本学級の生徒の回答を抜粋したものである。

【令和5年度9月実施 29人回答】

質問項目 (括弧内は、本校で育成する資質・能力)	肯定的回答(人)		否定的回答(人)		肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)
	よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない		
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	3	22	2	2	86.2	13.7
授業や勉強をするときに、各教科の知識・技能がスキルアップできるように意識しています。(スキルアップ)	11	13	3	2	82.7	17.2
自分の特徴や長所・短所を客観的に好意的に見取り、成長のために何が必要か考えていると思います。(自己分析)	14	11	2	2	86.2	13.7
自分で考えたことを、相手にわかりやすく伝えていると思います。(表現力)	9	12	6	2	72.4	27.5
自分の思いや考えを、自分の言葉や作品で表すことができていると思います。(表現力)	11	10	6	2	72.4	27.5

自他の考えを客観的に分析し、他者の考えを取り入れながら多角的・多面的に考えていると思います。(表現力)	12	9	5	3	72.4	27.5
友人同士や教員、地域社会など対話的な活動を行いながら、協働する態度や姿勢を持っていると思います。(協働)	9	15	2	3	72.4	27.5
何事に対しても、主体的に意欲的に取り組み、チャレンジ精神を持っていると思います。(協働)	10	13	2	4	82.7	17.2

総合的な学習の時間に限らず、本学級の生徒の多くが意欲的に授業に参加している。とくに班活動を仕組むと、積極的に意見を出し合い、協力して課題解決に取り組む姿が見られる。総合的な学習の時間においても、タブレット端末も活用しながら情報を集め整理したり、スライドにまとめ発表したりするなどの活動に取り組んでいる。アンケートの結果からも、「協働」の項目で肯定的評価が高くなっていることがわかる。

本校で育成する4つの資質・能力について、もっとも肯定的評価の割合が低かったのが「表現力」についての質問項目である。とくに、自分の思いや考えを自分の言葉や作品で表現することに苦手意識があることが窺える。本学級の生徒は、自分の考えをワークシート等にまとめる力は身に付きつつあり、その多くが求められる内容を文章で説明することができる。しかしながら、学級全体に個人で自分の意見を説明することには苦手意識を持ち、自分から発表することに抵抗を感じている生徒も多い。授業内では発言させる前に班で確認させるなどの支援を行うとともに、小グループで協力して活動し、協働して発表準備を進めることが得意な点を生かしながら、総合的な学習の時間のみならず、他の教科や生徒会活動等、教育活動全体を通して、表現力の育成に取り組んでいく必要がある。

単元の指導

今年度の本校の研究テーマ「主体的・対話的に深く学ぶ生徒の育成～探究的な学習を通して～」、および、第一小学校・第三小学校と合同で取り組む令和5年度探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業の研究テーマ「小中学校のつながりをもたせた表現力の育成～開発した単元とルーブリックの見つめ直しを通して～」を受けて、次の3点に重点を置いて指導を行う。

第一に、地域を題材とし、小中学校で系統性を持たせた単元とすることである。「防災・減災」に関わる学習は、小学校段階でも取り組まれている。そこで中学校段階では、小学校での学習をふまえ、より発展的・実践的な学習となるよう単元を構想した。本単元では実際の「避難行動」に焦点化し、迅速に避難することができるよう普段からの避難準備を促すことを目標に入れている。

第二に、主体的に学べるよう、地域社会との関わりを意識させながら、自分事として捉えさせる活動を仕組むことである。そのために、まずは事前アンケートを実施し「理想」と「現実」のズレを確認する。それを踏まえた上で、避難行動を疑似体験させる防災教育教材である「避難行動訓練 EVAG」に取り組ませ、豪雨災害時の避難行動をシミュレーションさせる。避難の過程で起こりうる事態を想定し、想像と疑似体験を結び付けて“自分事”として考察し、提案にまとめていけるような授業展開を構想した。

第三に、表現力の育成に資する単元とすることである。「生徒の実態」に詳述したように、本学級の生徒には「表現力」について課題がある。そこで、本単元の学習は基本的に3～5人までの小グループを単位とし、自分の考えをもとにグループ内で話し合い、意見をすり合わせたりまとめたりする活動を中心に進めていくものとする。体験学習もグループを単位とし、コミュニケーションを取りながら協力・協働する活動を中心とする。また、スライドを使ってより多くの人に伝える活動を仕組んでいる。

単元の見標

日頃から災害に備える意識を涵養し行動するとともに、災害時には迅速に避難し、中学生の自分たちにできる最大限の方法で命を守る行動をとることができるようにする。

ア 防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動をとろうとしている。

イ 防災・減災について、自ら課題を見つけ、解決に必要な情報処理を適切に行い、表現を工夫して解決案を発表するとともに、見出した解決案を多面的多角的に検証している。

ウ 防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組もうとしている。





単元の評価規準



評価の観点	ア 【知識・技能】	イ 【思考・判断・表現】	ウ 【主体的に学習に取り組む態度】
本校で育成する資質・能力	スキルアップ	表現力	協働
評価規準	防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動を理解している。	防災・減災について、異なる立場や考えを想定しながら、根拠を吟味し、自分の考えを分かりやすく伝えている。	防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組もうとしている。

資質能力	A	B	Bに到達させるための手立て
スキルアップ	防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動を理解しているとともに、知識や技能を更新できている。	防災・減災について、避難準備や避難行動、防災グッズに関する知識・技能を身に付け、日頃から災害に備える行動を理解している。	グループ内で考えを交流・共有させるとともに、情報を整理し、選択肢を示すことで支援する。
表現力	防災・減災について、異なる立場や考えを想定しながら伝える相手を意識したうえで、根拠を吟味し、自分の考えを分かりやすく伝えている。	防災・減災について、異なる立場や考えを想定しながら、根拠を吟味し、自分の考えを分かりやすく伝えている。	グループ内で考えを交流・共有させるとともに、ポイントを整理して示し、選択させることで支援する。また、本当に必要な提案内容なのか問いかけながら揺さぶりをかけ、グループ内で吟味するよう仕向ける。
協働	防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組み、よりよい解決策を導き出そうとしている。	防災・減災について、自他の意見や考えの良さを生かしながら、課題解決に向けて協働して取り組もうとしている。	グループのリーダーに活動の進め方についてアドバイスするとともに、注目すべきポイントを示すことで支援する。

指導と評価の計画

(全 6 時間)

次	学習内容 (時数)	評価			
		知 技	思 判 表	主	評価規準 (評価方法)
	<p>課題の設定</p> <p>○アンケート結果の確認をし、課題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に GoogleForms によるアンケートを実施し、熊野町に避難指示が出た想定で、すぐに避難できるかどうか理由も併せて回答させる。 ・回答結果を確認し、実際に避難しなければならなくなった時に必要なものや動きを具体的にイメージできるかなどを問いかける。 	◎			ア (アンケート)
	<p>【探究課題】適切な備え・行動をして安全に避難しよう！</p>				
一	<p>情報の収集 I</p> <p>○避難行動訓練 EVAG をやってみよう！</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">(めあて) 避難行動訓練 EVAG を通して、避難行動をシミュレーションし、適切なタイミングや方法での避難行動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害時の避難行動をテーマにしたゲームを行う。 ・様々な事情を抱えた住人になりきって、避難のタイミングや方法を考える。 ・KJ法を用いたグループでの振り返りを通して、困ったことを共有し、解決の方法について検討する。また、グループで話し合ったことを発表し共有する。 <p style="text-align: right;">(2時間)</p>		◎	○	イ (観察、ワークシート) ウ (観察、発表、自己評価)
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">災害が起こったとき、どう避難するか考えています。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="background-color: #4a90e2; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">意見をもち寄って、災害時の避難について情報を共有しています。</p> </div> </div>				
	 				

<p>二</p>	<p>情報の収集2・整理・分析・まとめ・表現</p> <p>○避難時に必要なことを考えよう!</p> <p>(めあて)班で話し合いながら安全に避難するために必要なことを考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EVAGで共有した困ったこと・解決策をグループで共有する。(ジャムボード)  <ul style="list-style-type: none"> ・共有したことをもとに、テーマを決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【テーマ例】</p> <p>避難ルート、防災バッグの中身、避難のタイミング、近所との共有の仕方、適切な避難行動(豪雨、地震)、家族の状況(健康状態など)を踏まえた事前準備 危険から身を守る方法(豪雨、地震)、 けが人を見つけた時の対応 など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・決定したテーマをもとに情報を収集し、話し合う。 ・発表用スライドと原稿を分担して作成する。 	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>ア(観察、ワークシート)</p> <p>○ ウ(観察、ワークシート、自己評価)</p>
<p>三</p>	<p>情報の収集3・整理・分析・まとめ・表現</p> <p>○避難時に本当に必要な情報か吟味しよう!</p> <p>(めあて)収集した情報をもとに必要な情報を吟味し、安全に避難するための提案内容を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定したテーマをもとに情報を収集する。 ・収集した情報が本当に必要な内容か話し合いながら吟味する。 ・班ごとに単元全体を振り返り、まとめる。 ・発表用スライドと原稿を分担して作成する。 	<p>○</p>	<p>◎</p>	<p>イ(観察、ワークシート、スライド)</p> <p>○ ウ(ワークシート、スライド、自己評価)</p>
<p>四</p>	<p>まとめ・表現 【本時】</p> <p>○アイデアを発表しよう!</p> <p>(めあて)発表を通して、自ら表現するとともに、自分たちの提案を分かりやすく伝えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級発表会を行い、グループでまとめた学習成果を発表する。 ・発表を聞いて考えたことを整理し、単元全体を振り返る。 ・事後アンケートを実施し、課題が達成できたのか検証する。 	<p>○</p>	<p>◎</p>	<p>○ イ(発表、ワークシート)</p> <p>○ ウ(発表、コメント、自己評価)</p> <p>○ ア(コメント、ワークシート、自己評価)</p>

本時の学習（6／6時間）

（1）本時の目標

安全に避難するために必要な備えや行動について、これまでの学習を踏まえてわかりやすく伝えることができる。

（2）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て（◆）	評価規準 (評価方法)
1 導入（3分）		
<p>○本時のめあてを示し、前時までの学習をふまえ、各グループでまとめた内容を発表すること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>本時のめあて 自分たちの提案を分かりやすく伝えることができる。</p> </div>	<p>◇相手にわかりやすく伝えることと全グループの発表後に自分にとって今必要なベスト3を決めることを意識するよう伝える。</p> <p>◇ 事前にスライド操作と発言者の役割分担をさせておく。</p>	<p>イ（発表） ウ（発表、コメント）</p>
2 展開1（40分）		
<p>○各グループでまとめた内容を発表する。</p> <p>○ 各グループの発表を踏まえ、自分にとって安全に避難するために必要なことマイベスト3を選ぶ。</p>	<p>◇ 発表時間を1分取り各グループの提案について、タブレットから気付きを入力させる。 ※気づき…分かりやすかったところ、分かりにくかったところ(改善点)など ◆タブレット操作のサポートをする。</p> <p>◇ 発表内容およびこれまでの学習内容を踏まえて、自分にとって必要なマイベスト3を選択するよう伝える。その際、なぜそう考えたのかもあわせて記述させる。 ◆ 時間がかかる生徒には、声掛けをする。</p>	<p>イ（ワークシート）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>【「概ね満足できる」状況（B）と判断する根拠】 防災・減災について、異なる立場や考えを想定しながら、根拠を吟味し、自分の考えを分かりやすく伝えている。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【「配慮を要する」状況（C）と判断される生徒への手立て】 各グループの発表内容を振り返らせ、箇条書きで挙げさせる。</p> </div>		
4 まとめ（2分）		

3 展開2 (5分)

価カードに記入させる。

ウ (自己評価)

(3) 板書計画

単元「**あなたの選択が運命を分ける!備えと行動**」

アイデアを発表しよう!～学級発表会～

本時のめあて

自分たちの提案を分かりやすく伝えることができる。